

平成 1 2 年度試験研究成果

区 分	研 究	題 名	花き専作経営の取り組み品目と類型別経営実態		
[要約] (1)切り花農家は、りんどうを基幹に、それに組み合わせる品目として、その時代にあった品目の導入をしていることから、恒常的に新品目の導入等に対応する経営判断が必要である。 (2)鉢花経営では、取組品目が固定的である他、雇用労働に依存した企業の経営で、販売先も多様である。収益の安定性を確保するためにも、的確な市場対応など販売管理能力の向上が必要である。					
キーワード	花 き	専作経営	経営開始年	企画経営情報部	農業経営研究室

1. 成果の内容

1998 年に各地域農業改良普及センターの推薦を受けてリストアップし、経営調査をした専作経営農家 250 戸を対象に、経営形態の異なる区分として切り花と鉢花の取り組み品目区分で分類し、品目、品目順位、経営開始年、作目導入年、販売先、雇用労働力の特徴を比較した。

(1) 品目の組合せ

花きの品目を 2 品目以上手がけている組合せは、「りんどう」＋「ゆり」、「りんどう」＋「ゆり」＋「グラジオラス」の組合せが多い。鉢花でも鉢りんどうが組み合わされており、露地のりんどうとハウス利用品目との、施設が競合しない組合せが多い（表 1）。

(2) 経営開始年と品目の導入年との関係分析

花き専作農家に導入されている品目を、農家の花き経営開始年と各品目の導入年の平均年（経営開始年 1983 年、作目導入年 1987 年）で区分し、切り花、鉢花それぞれの分類を行った。

切り花の導入年についてはりんどうと他の切り花とで明確に区分される。さらに平均導入年以降の品目でもアスター、ひまわり、サンダーソニアなど経営歴の長い農家に取組まれやすい品目と、トルコギキョウ、アルストロメリア、スプレー菊、デルフィニウムなど比較的新しい取組農家に取組まれている品目とに分かれる（図 1）。

鉢花については経営開始年と導入年がほぼ比例関係にあった（図 2）。

(3) 経営歴に占める取組年数割合と導入年との関係分析

次に、各品目の経営歴に占める取組年数割合とその導入年について、それぞれの平均で分類した。切り花では導入年次が早いものほど、取組年数の割合が高かった。りんどうは導入年も古く、その経営割合に占める割合も高くなっているのに対し、それ以外の作目は、近年に導入されたものほど、その経営歴に占める割合が低い結果となっている（図 3）。

一方、図 4 で鉢花経営歴に占める現在の鉢花品目の取組年数割合と各品目の導入年との位置関係を示すとおり、アルストロメリアを除いて、全経営歴の 5 割から 8 割の期間を占め、切り花と比べ、長期間同じ品目を継続して栽培していることが明らかになった。この理由としては、鉢花経営の場合、作目に応じた施設投資などで初期投資が多く、また、切り花等と異なり、栽培管理が長期間となること等が推察される。

(4) 取組品目別販売先分析

全体の 8 割近い切り花経営では農協出荷 50%以上がほとんどであるが、戸数はまだ少ないものの、鉢花や花苗を取り入れた経営体では、市場への直接出荷の他、小売店直接販売や直売所等に向けた販売が増える傾向が見られた。特に鉢花主体に切り花も含めて複数品目取り組む場合、多様な流通チャンネルを持っていることが伺われる。

(5) 雇用労働力の導入状況

切り花、鉢花の専作経営では市場出荷者の雇用が多いが、鉢花主体に苗もの等の周年生産で直売や、庭先販売を行うケースでは、常勤雇用を多く取り入れる傾向にある。

2. 成果の活用方法及び留意事項

切り花農家の新品目導入対応として、需要先取り型の研究や、需要創造型の提案品目生産体制の構築、収益性や安定生産技術の早期支援体制の確立が重要と考えられる。また、鉢花経営における販売チャンネルの多さに対応した販売管理を中心とした経営管理能力向上のための支援が必要と思われる。

3. 当該事項に係る試験研究課題

[農業構造 3]1-(3)-7 花き専作経営成立条件と経営管理方式(7)花き専作経営実態の把握

4. 参考文献・資料

特になし

5. 試験成績の概要

[成果の概要]

表1 岩手県内花き専作農家 250 戸の花き品目の組合せ状況

3 品 目					2 品 目		
第1作目名	第2作目名	第3作目名	同順	順不同	第1作目名	第2作目名	同順
りんどう	ゆ り	グラジオラス	5	8	りんどう	ゆ り	18
シクラメン	鉢りんどう	花 苗	2	3	ゆ り	りんどう	8
ストック	トルコギキョウ	りんどう	1	3	りんどう	促成りんどう	8
りんどう	かすみそう	ゆ り	2	2	りんどう	グラジオラス	5
りんどう	シクラメン	花 苗	2	2	りんどう	アストランチア	3
りんどう	トルコギキョウ	ひまわり	2	2	りんどう	小ぎく	3
りんどう	ゆ り	ストック	2	2	りんどう	スターチス	2
鉢りんどう	ポインセチア	花 苗	2	2			
プリムラ	ペゴニア	インパチェンス	2	2			
ゆ り	りんどう	グラジオラス	2	2			
りんどう	トルコギキョウ	デルフィニューム	1	2			
りんどう	トルコギキョウ	小 ぎ く	1	2			
りんどう	スターチス	ストック	1	2			

注 1). 同順は経営内順位が同じ組合せ、順不同は経営内順位異なる組合せを加えた件数

2). 調査時点は 1998 年 4 月 1 日

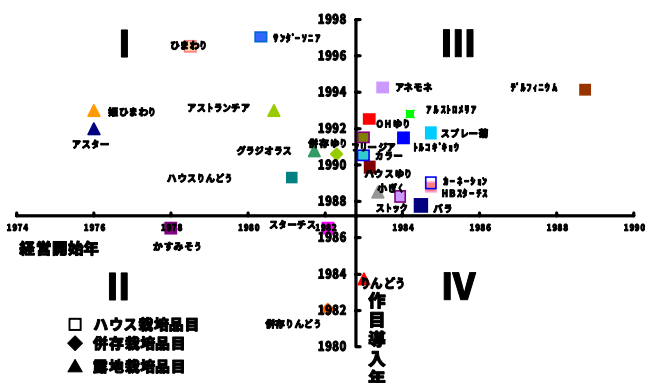


図1 経営開始年と現在実施作目導入年との関係 (切り花)

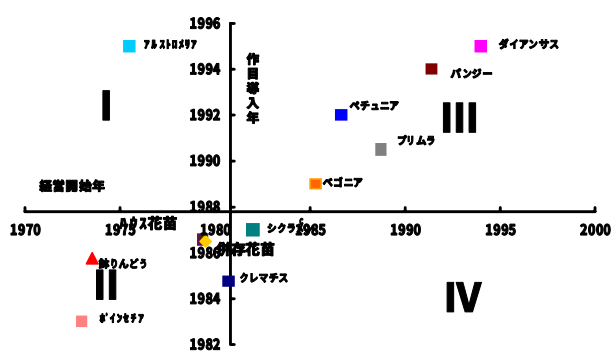
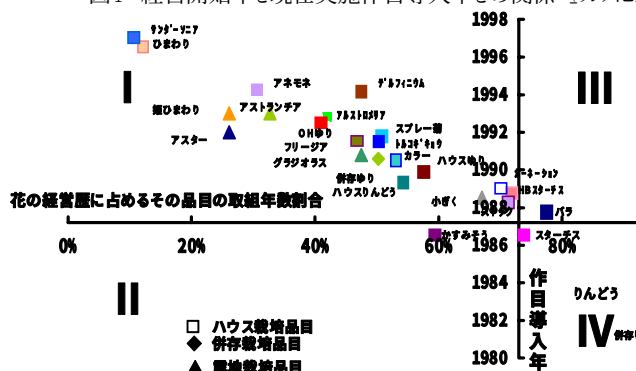
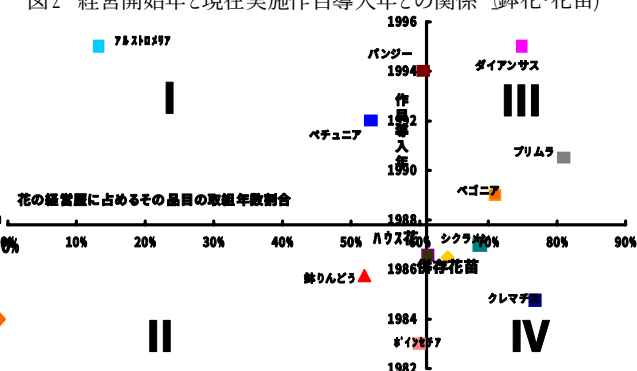


図2 経営開始年と現在実施作目導入年との関係 (鉢花・花苗)



※ 岩手県内の切り花専作農家がどの時点で今の品目を導入したか

図3 品目別の花き経営歴に占める取組期間と導入年



※ 岩手県内の鉢花・花苗の花き専作農家がどの時点で今の品目を導入したか

図4 品目別の花き経営歴に占める取組期間と導入年

□ 市場出荷50%以上 ■ 小売店直接・契約生産型 □ 直売所・朝市・庭先型 □ 農協出荷50%以上

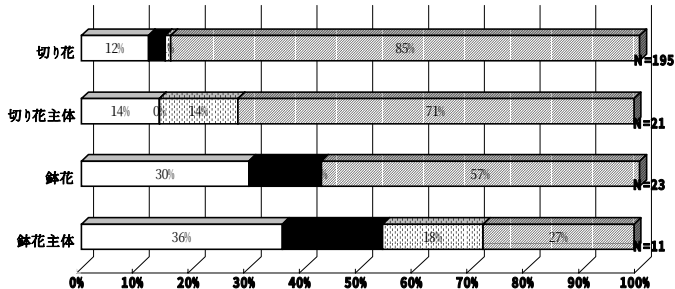


図5 経営内容別販売先

表2 のべ雇用労働の導入状況 単位:人日

出荷区分	切花	切花 主体	鉢花	鉢花 主体	平均
農協出荷 50%以上	82	218	425	583	135
市場出荷 50%以上	383	90	1,319	273	577
小売店直接・ 契約生産	80		607	175	301
直売所・朝 市・庭先型		80		2,000	1,040
類型別平均	121	188	720	547	225